

別紙 4 救急医療の提供の実績
(救急医療を提供する能力を有することを証する書類)

NO. 1

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師		常勤 専従	38.5 h/週	
2	〃		〃	〃	
3	〃		〃	〃	
4	〃		〃	〃	
5	〃		〃	〃	
6	〃		〃	〃	
7	〃		〃	〃	
8	〃		〃	〃	
9	〃		〃	〃	
10	〃		〃	〃	
11	〃		〃	〃	
12	〃		〃	〃	
13	〃		〃	〃	
14	〃		〃	〃	
15	〃		〃	〃	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	床
専用病床	20 (ICU4床) 床

注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

別紙 4 救急医療の提供の実績

(救急医療を提供する能力を有することを証する書類)

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No. 2

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
16	医師		常勤 専従	38.5 h/週	
17	〃		〃	〃	
18	〃		〃	〃	
19	〃		〃	〃	
20	〃		〃	〃	
21	〃		〃	〃	
22	〃		〃	〃	
23	〃		〃	〃	
24	〃		〃	〃	
25	〃		〃	〃	
26	〃		〃	〃	
27	〃		〃	〃	
28	〃		〃	〃	
29	〃		〃	〃	
30	〃		〃	〃	
31	〃		〃	〃	
32	〃		〃	〃	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	床
専用病床	20 (ICU4床) 床

注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

別紙 4 救急医療の提供の実績
(救急医療を提供する能力を有することを証する書類)

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No. 3

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
33	医師		常勤 専従	38.5 h/週	
34	〃		〃	〃	
35	〃		〃	〃	
36	〃		〃	〃	
37	〃		〃	〃	
38	〃		〃	〃	
39	〃		〃	〃	
40	〃		〃	〃	
41	〃		〃	〃	
42	〃		〃	〃	
43	〃		〃	〃	
44	〃		〃	〃	
45	〃		〃	〃	
46	〃		〃	〃	
47	〃		〃	〃	
48	〃		〃	〃	
49	〃		〃	〃	
50	〃		〃	〃	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	床
専用病床	20 (ICU4床) 床

注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

別紙 4 救急医療の提供の実績
(救急医療を提供する能力を有することを証する書類)

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No. 4

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
51	医師		常勤 専従	38.5 h/週	
52	〃		〃	〃	
53	〃		〃	〃	
54	〃		〃	〃	
55	〃		〃	〃	
56	〃		〃	〃	
57	〃		〃	〃	
58	〃		〃	〃	
59	〃		〃	〃	
60	〃		〃	〃	
61	〃		〃	〃	
62	〃		〃	〃	
63	〃		〃	〃	
64	〃		〃	〃	
65	〃		〃	〃	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	床
専用病床	20 (ICU4床)床

注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

別紙 4 救急医療の提供の実績

(救急医療を提供する能力を有することを証する書類)

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No. 5

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
66	看護師		常勤 専従	38.5 h/週	
67	〃		〃	〃	
68	〃		〃	〃	
69	〃		〃	〃	
70	〃		〃	〃	
71	〃		〃	〃	
72	〃		〃	〃	
73	〃		〃	〃	
74	〃		〃	〃	
75	〃		〃	〃	
76	〃		〃	〃	
77	〃		〃	〃	
78	〃		〃	〃	
79	〃		〃	〃	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	床
専用病床	20 (ICU4床)床

注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

別紙 4 救急医療の提供の実績

(救急医療を提供する能力を有することを証する書類)

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No. 6

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
80	看護師		常勤 専従	38.5h/週	
81	〃		〃	〃	
82	〃		〃	〃	
83	〃		〃	〃	
84	〃		〃	〃	
85	〃		〃	〃	
86	〃		〃	〃	
87	〃		〃	〃	
88	〃		〃	〃	
89	〃		〃	〃	
90	〃		〃	〃	
91	〃		〃	〃	
92	〃		〃	〃	
93	〃		〃	〃	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	床
専用病床	20 (ICU4床) 床

注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

別紙 4 救急医療の提供の実績
 (救急医療を提供する能力を有することを証する書類)

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No. 7

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
94	看護師		常勤 専従	38.5 h/週	
95	〃		〃	〃	
96	〃		〃	〃	
97	〃		〃	〃	
98	〃		〃	〃	
99	〃		〃	〃	
100	〃		〃	〃	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	床
専用病床	20 (ICU4床) 床

注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要(主な設備)	24時間使用の可否
救急処置室(1階)	90.59㎡	人工呼吸器2台 血液ガス分析装置1台 除細動器1台 心電図計1台 超音波診断装置1台 无影燈1台	可
CT室(1階)	31.11㎡	64列CT装置1台 256列CT装置1台	可
血管造影室(1階)	38.64㎡	全身血管撮影装置1台	可
MRI室1(地下)	43.92㎡	1.5テスラMRI装置	可
MRI室2(地下)	45.68㎡	3テスラMRI装置	可
ICU 4床 初期治療病棟 16床	276.52㎡	人工呼吸器4台 生体情報監視モニター1台 血液ガス分析器1台 除細動器1台 心電図計1台 超音波診断装置1台	可
手術室 6室	328.96㎡	監視・術野カメラ装置1台 手術用顕微鏡3台(眼科2台、脳外科1台) 網膜硝子体・超音波白内障手術装置1台 パーハルスレクト1台	可

4 備考

--

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	4,066人 (1,548人)
上記以外の救急患者の数	3,946人 (702人)
合計	8,012人 (2,250人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

別紙 5 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明)

1 研修の内容

【平成29年度】	
症例検討会議	
開催延べ数	4回
研修会参加延べ数	189人
内 当院参加者数	139人 (医師 87人、医師以外 52人)
〃 院外参加者数	50人 (医師 50人、医師以外 0人)
学術講演会	
開催延べ数	1回
研修会参加延べ数	416人
内 当院参加者数	209人 (医師 9人、医師以外 200人)
〃 院外参加者数	207人 (医師 9人、医師以外 198人)
糖尿病病診連携会	
開催延べ数	3回
研修会参加延べ数	150人
内 当院参加者数	94人 (医師 8人、医師以外 86人)
〃 院外参加者数	56人 (医師 44人、医師以外 12人)
循環器病診連携会	
開催延べ数	2回
研修会参加延べ数	82人
内 当院参加者数	46人 (医師 10人、医師以外 36人)
〃 院外参加者数	36人 (医師 33人、医師以外 3人)
消化器疾患病診連携会	
開催延べ数	2回
研修会参加延べ数	131人
内 当院参加者数	67人 (医師 23人、医師以外 44人)
〃 院外参加者数	64人 (医師 63人、医師以外 1人)
市民公開講座	
開催延べ数	6回
研修会参加延べ数	1,159人
内 当院参加者数	54人 (医師 12人、医師以外 42人)
〃 院外参加者数	1,105人 (医師 0人、医師以外 1,105人)
【計】	
病院参加者数	609人 (医師 149人、医師以外 460人)
院外参加者数	1,518人 (医師 199人、医師以外 1,319人)
※各研修会ごとの目的、対象者、参加者数の実績などは、別添5のとおり	

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	18回
(2) (1) の合計研修者数	2,127人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 有・無
 イ 研修委員会設置の有無 有・無
 ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
[REDACTED]	医師	内科(内分泌)	診療部長	30年	教育責任者
	医師	内科(循環器)	副院長	29年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
図書室	110.96㎡	(主な設備) 文献検索(医中誌) 電子ジャーナル検索システム 図書管理システム 医学図書 医学雑誌複合機(カラー)1台 パソコン3台
講堂	131.10㎡	(主な設備) プロジェクター一式 パソコン1台 DVD1台 スクリーン
第4会議室	34.81㎡	(主な設備) スライドスクリーン 会議机・椅子一式
第1会議室	54.60㎡	(主な設備) スライドスクリーン 会議机・椅子一式
第2会議室	24.21㎡	(主な設備) 会議机・椅子一式

別紙6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	診療録管理委員会委員長	██████████
管理担当者氏名	診療情報管理室主任	██████████

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		中央カルテ庫 診療情報管理室	①診療録 ターミナルデジット方式 ②療録以外 年度分類
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	病診連携室	年度分類
	救急医療の提供の実績	病診連携室 診療情報管理室	年度分類
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	病診連携室	年度分類
	閲覧実績	病診連携室	年度分類
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	病診連携室	年度分類

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

別紙7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	事務次長兼総務課長 [REDACTED]
閲覧担当者氏名	病診連携室室長 [REDACTED]
閲覧の求めに応じる場所	病診連携室
<p>閲覧の手続の概要</p> <p>① 診療録 診療録取り扱い関連規約第9条により、依頼伝票に記入のうえ、外来診療録は中央カルテ庫、入院診療録は診療情報管理室へ申し込む。</p> <p>② 診療録以外 閲覧担当者より閲覧責任者へ閲覧依頼票を提出後、閲覧許可をする。</p>	

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

別紙 8 医療法施行規則第9条19の委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2回	遠州病院地域医療審議会
委員会における議論の概要		
<p>平成29年度 第1回 遠州病院地域医療審議会 日時 平成29年10月3日(火) 13時～ 場所 院内 第1会議室 現委員数 7人 出席委員数 6人 議題 1 平成29年度(上半期)業務実績報告 (1) 紹介率・逆紹介率 (2) 共同診療・手術件数 (3) 高額医療機器検査受託件数 (4) 救急車搬送件数 (5) 地区別患者数 (6) 研修会実績報告 (7) 転院・施設利用実績 2 意見交換 3 その他 【病院への意見及び対応状況概要】 逆紹介率が他院に比べ少ないとの意見があり、初診患者が多い為と説明。その他、共同診療の減少、救急医療の状況について意見交換が行われた。 ※別紙、審議会資料、議事録添付</p> <p>平成29年度 第2回 遠州病院地域医療審議会 日時 平成30年3月28日(水) 13時～ 場所 院内 第1会議室 現委員数 7人 出席委員数 6人 議題 1 平成29年度業務実績報告 (1) 紹介率・逆紹介率 (2) 共同診療・手術件数 (3) 高額医療機器検査受託件数 (4) 救急車搬送件数 (5) 地区別患者数 (6) 研修会実績報告 (7) 転院・施設利用実績 2 意見交換 3 その他 【病院への意見及び対応状況概要】 地区別の救急車受入件数について質問があり、次回会議で資料を提示する旨を説明。その他、救急帯との連携、MRIが新たに追加された件などについて意見交換が行われた。 ※別紙、審議会資料、議事録添付</p>		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

別紙 9 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他（病棟面談室）		
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	医療安全管理室 よろず相談担当看護師 看護総合支援室 看護総合支援室 医療ソーシャルワーカー 医療ソーシャルワーカー 医療ソーシャルワーカー 医療ソーシャルワーカー 医事課未収金担当		
患者相談件数	3,307件		
患者相談の概要			
＜相談件数＞			
①	健康相談（一般的な相談）	158	件
②	医療行為・医療事故・情報公開	60	件
③	診療報酬などの費用負担	1048	件
④	職員の対応・接遇	54	件
⑤	病院の設備、人員、運営体制等	23	件
⑥	その他		
	がん関連相談	213	件
	セカンドオピニオン	12	件
	介護保険	721	件
	障害者関連	35	件
	生活保護関連	93	件
	退院調整	760	件
	虐待（疑いを含む）	7	件
	個人情報	4	件
	暴力・クレーマー	6	件
	療養中の相談など	113	件
＜相談に対して講じた対策＞			
○事例を元にして、職員全員に対する、接遇研修を行っている。			
○医療事故の場合、該当職場と関係者で事故事例検討を行い、再発防止のための対策を立案している。			
○全職員対象に転倒転落についての「危険予知トレーニング」を実施している。			
○生活保護者の出産に対し、助産施設の対応を行っている。			
○虐待の早期発見に努めるため、勉強会を実施している。			
○退院支援相談の早期介入のため、病棟カンファレンスに参加している。			

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

別紙10 その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 機関名：日本医療機能評価機構 時期：平成26年5月20日（火）～平成26年5月21日（水） 初回の認定日：平成20年11月17日 最新の認定日：平成26年8月1日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 ○病院ホームページにおいて、各科の診療実績を提示している（年1回）。 ○病診連携室より地域の医療機関・関連施設に、当院広報誌を発送している（月1回）。 ○病院からの情報発信元として、広報・ホームページ委員会を開催し、各部門と情報更新の確認、ホームページの更新確認を行っている。 ○学術講演会を開催し、その後近隣自治会の方々との情報交換を行っている（年1回）。 ○地域の中学校の職場体験等の受け入れを行い、病院機能の公開をしている（年1回）。	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 部署名：看護総合支援室 職員数：2名 業務内容： ○退院支援部門担当者が各病棟のカンファレンスに参加。（各病棟 週1回） ○各ケースのアドバイスをを行い、調整が必要なケースへの介入を行っている。 退院調整加算：3,143件 介護支援連携指導料：549件 退院時共同指導：25件 退院支援カンファレンス：平日1日1回	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容<ul style="list-style-type: none">○ 脳卒中連携パス 10件 大腿骨頸部骨折連携パス 18件・ 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み<ul style="list-style-type: none">○ 回復期リハビリテーション病棟運営会議を月1回開催し、地域連携実績の報告、関係職種による意見交換を実施している。○ 地域連携クリニカルパス連絡会に年6回（脳卒中連携パス3回、大腿骨頸部骨折連携パス3回）参加し、地域連携クリニカルパスの積極的な活用、スムーズな連携の実践に向け、連携施設との意見交換を行っている。	